

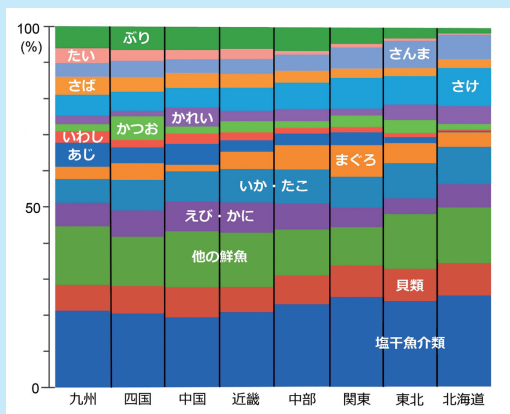
お魚、何、食べてますか?(1)

(ご自由にお持ちください)

海生研では、魚介類に蓄積しているダイオキシン類の実態調査を継続的に行っています。同時に、得られた知見の普及・啓発も併せて行っています。HPに普及啓発資料を掲載したり、情報誌に記事を掲載してより多くの方々に知っていただく取組を行っています。

そのなかで、日本人がどんな種類の魚介類を食べているか、統計資料(総務省)を整理して地方別にグラフ化してみました。下図をご覧ください。これを見ますと、どの地域でも意外と同じような種類の魚介類を食べているのが分かります。しかし、詳しくみると、地域で多く獲れる魚介類をより多く食べている様子が窺えます。地産・地消の傾向があります。

(事務局研究調査グループ 柴崎道廣)



海生研は、発電所の取放水等が海の環境や生息する生物に与える影響を科学的に解明する中立的な調査研究機関として、昭和50年に財団法人として設立されました。

平成24年4月からは公益財団法人に移行しました。科学的手法に基づき、エネルギー産業等における沿岸域利用の適正化と、沿岸海域等の自然環境、水産資源、漁場環境の維持・保全に寄与することを目的として、これまで以上に長期的な展望を踏まえた計画的な学術調査研究を推進し、成果を公表してまいります。

海の豆知識 第52号

平成24年7月 発行

発行所

公益財団法人 海洋生物環境研究所

事務局 〒162-0801 東京都新宿区山吹町347 藤和江戸川橋ビル7階 ☎(03) 5225-1161
中央研究所 〒299-5105 千葉県夷隅郡御宿町岩和田300 ☎(0470) 68-5111
実証試験場 〒945-0017 新潟県柏崎市荒浜4-7-17 ☎(0257) 24-8300

海の豆知識に関するお問い合わせは、事務局までお願いします。
＜ホームページ＞ <http://www.kaiseiken.or.jp/>

かいせいけん

海の豆知識

Vol.52

★★★ 魚のことわざ ★★★



公益財団法人
海洋生物環境研究所

魚のことわざ

(その49)

——マアジ——

海とその生物にまつわる諺や格言についてお話ししましょう。

今回は、過去にVol.12でも取り上げたマアジ（スズキ目、アジ科、マアジ属。地方名：アツ（東北）、ホンアジ、ヒラアジ（近畿）、ガツン（沖縄）、英名：Japanese horse mackerel, Japanese jack mackerel）をご紹介します。

読んで字のごとく味が良いから「アジ」と言われますが、特に3月頃から味が良くなることから、魚偏に参という字が充てられました。わが国では古くから親しまれ、干物やくさやなど食べ方や保存に工夫がされてきました。釣りの対象魚としても人気が高く、型の大きいものは、水深の深いところに生息しているため、船釣りが主流となっています。

日本沿岸各地に分布し、全長40cm程度のものは水深200m以浅の中・下層に生息します。マアジは若魚・成魚では魚食性が強いが、小型の節足動物やイカ類も食べます。

主な漁法としては、全国的に巻網、アグリ網、大小型定置網などによって漁獲されています。大きな群れをつくって移動する魚種なので、文字どおり一網打尽的な漁法により大量に漁獲されています。ほぼ全国的に周年にわたり漁獲され、主に4～9月頃の21℃前後の水温帯での漁獲が多いそうです。活魚、生鮮物、開き加工等で出荷され、小売店では塩焼き用や刺身用として、また各種惣菜に加工されて食卓に手軽に上るようになっています。



「^{あじ}は^{たな}を^あ上げて釣れ」

アジ釣りにはコマセ（寄せ餌）を使う。コマセを撒きながら少しずつ棚（水深）を上げて、アジを上層に集めて釣るのが数釣りのコツ。10mの底と3mの上層を釣る場合、後者の時間は約1/3ということになり能率的である。しかし、漁師という商売でもないのに、能率や数にこだわることもあるまい。釣は心の遊びである。



「^{さかな} ^{ごさんけ}魚の御三家」

魚河岸から出た言葉で、アジ、サバ、イワシのこと。安くて旨く、しかも栄養が有り、「大衆魚の三羽鳥」。だが、漁獲量で値が変動し、アジ、サバは時々高級魚の仲間入ることができる。



「^{あま} ^つ刺して釣れ」

囲碁の言葉に「^{あま}刺して打つ」の言葉があるという。相手がおとなしく受けるからといって、とことんまで打ち切るな、余裕を残しておけという意。釣りの世界にも転用される。明日も来る年も釣れるように種を残して…。



「^{たいりょう} ^{あした}大漁の明日」

魚が沢山漁れた翌日は、漁が少ないことをいう。転じて、良い日の次の日は、また今日も、と期待するものだが、「チャンスのあとにはピンチあり」。そう良い日ばかりが続くとは限らない。